平成２０年１２月２５日
日本原子力発電株式会社

当社社員の個人所有パソコンからの業務情報の流出について（原因と対策）

当社は、１１月２５日に、当社業務情報がインターネット上のネットワークに流出しているとの外部からの連絡を受け、事実関係の調査を行ってまいりました。

調査の結果、当社社員の個人所有パソコンから、当社業務情報を含むデータがネットワーク上に流出したことが判明しました。流出した業務情報は、当社敦賀発電所の業務関係資料等であり、これまでの調査において核物質防護等に係わる機微情報が含まれていないことを確認しました。今後、全容の解明に向け引き続き調査を行ってまいります。

（１１月２８日発表済）

その後の詳細調査の結果、当該社員は、平成１９年６月に業務整理の必要性から業務情報のデータを個人所有パソコンに取り込み、その後削除しましたが、自動バックアップソフトによりデータがコピーされていました。その後、本年１１月に当該パソコン内のファイル交換ソフトがウィルスに感染し、コピーされていたデータがインターネット上のネットワークに流出したと判明しました。

また、流出した業務情報は４８２件であり、その後の新たな業務情報の流出は確認されませんでした。

＜今回流出した主な情報＞

・敦賀発電所雑固体減容処理設備に関する運転記録・技術資料
・敦賀発電所雑固体減容処理設備等の写真　　等

当社は、これまで他電力等における情報流出の事例を踏まえ、全社員に対して、

・社員の個人所有パソコンによる業務情報取扱い禁止
・業務情報の持ち出し原則禁止
・電子メールの添付ファイル等の暗号化　　等

の取り組みを実施しておりましたが、このような情報流出が発生したことを重大に受け止めており、関係方面にご迷惑、ご心配をおかけしたことにつきまして、深くお詫び申し上げます。

当社として、今回の業務情報の流出について全社員に周知し、業務情報流出防止の再徹底を図りました。また、全社員に対して、個人所有パソコン内に業務情報が無いことを再確認させました。今後、情報セキュリティに係る教育を定期的に行うことや業務情報の社外持ち出しを制限するシステム等を導入するなどして、二度と同じことを繰り返さないように再発防止を図ってまいります。

以　上